

3 学期終業式式辞

令和2年3月19日(木)

本日で、令和元年度が終わります。2月28日に3年生が第65回卒業生として本校を巣立っていき、皆さんは4月から新たな学年となり2年生は最上級生に、1年生は中堅学年となります。この1年を振り返り、次の学年への心構えをしっかりと持って、新年度を迎えてもらいたいと思います。

本日は、新型コロナウイルスの関係で、一部の在校生しか卒業式に参加できなかったことを踏まえ、卒業式で卒業生に伝えた2点を、終業式の式辞として皆さんにもお伝えし、次年度につなげてもらえればと考えました。

一つ目は、「生涯にわたって常に学び続けてもらいたい」ということです。

高校での学びは終わりますが、人生100年時代に突入する皆さんは、これまで以上に自分の持つスキルの見直しを迫られます。たったひとつのスキル、あるいはごく一般的なスキルを身につけているだけでは、長い人生の多彩な状況に対応できません。年齢により変わる時々の状況に応じて、新しいことを学び、新しいスキルを身につけていく必要があります。そしてそれは、世間から評価されるスキルであり、他の人の役に立つものでなければなりません。つまり、社会貢献です。社会のために尽くすことは、崇高な人生の目標の大切な要素であり、人として生きる喜びそのものでもあります。社会貢献のため、変化が激しい社会を生き抜くため、そして何よりも自分自身を向上させるために、生涯にわたって常に学び続けてください。

二つ目は、「生涯にわたって常に挑戦を続けてもらいたい」ということです。

皆さんが生き抜く社会は、予測不能でどんな困難が待ち受けているかわかりません。しかし、それがどんな困難な状況であっても、敢然と立ち向かい、挑戦する姿勢を持ってください。そして、自分の落ち着く場所や居心地のよい環境にとどまることなく、多くの人と関わりを持ちながら自分を成長させ、自分の希望に向かって挑戦してください。挑戦すれば失敗のリスクも伴います。しかし、挑戦しなければ前進はありません。失敗を恐れず信念をもってやり抜けば道は必ず開けます。熱高生のすばらさの一つに活力があります。行事や部活動で発揮したあのヴァイタリティーは皆さんの大きな財産です。人生100年時代を生き抜くために、持ち前のヴァイタリティーを大いに発揮し、生涯にわたって常に挑戦し続けてください。

以上、卒業生に向けての言葉ではありますが、在校生の皆さんにも必要な話であると考へ本日紹介しました。

4月からは、新入生が入ってきます。ここにいる皆さんが、先輩として、後輩の手本となるように、日々の学習活動や部活動を大切に、高校時代にしかできない新しいことに挑戦し、熱田高校の伝統に新しい1ページを加えるよう励んでください。

最後に、明日から春休みです。これまでの臨時休校中と同様に、生活習慣を崩さず、節度をもって過ごしてください。そして、始業式には全員がそろって元気な顔を見せてくれることをお願いして式辞とします。

愛知県立熱田高等学校長
三好 博輝